

Updating PDS Software

PDS 6.4.1 - 7.0

PDS 6.4.1 のクライアントマシンにインストールされたソフトウェアを、PDS 7.0 へアップデートする際の手順を示す。なお、Windows NT 等の再インストールは行わず、アプリケーションのアップデートのみを行うものとする。また、データベースサーバ機能(Oracle, RISORADS)に関しては変更を行わないものとする。

	Before Update	After Update
MicroStation	MicroStation SE (5.7) MicroStation/J (7.1)	MicroStation/J (7.1)
IPLOT Client	10.0	10.00, 10.01, 10.02
NTBATCH	4.0	5.0
PDS, PD_ISOGEN	6.4.1	7.0
FrameWorks Plus	3.2.1	7.0

1. 旧バージョンソフトウェアの削除

- FrameWorks Plus 3.02
Start Programs FrameWorks Plus 3.02 FWPlus Remove を起動し、FrameWorks Plus 3.02 の削除を行う。再起動は行わない。
- PDS 6.4.1 付属の SmartPlant P&ID 関連アプリケーション
Control Panel Add/Remove Programs を起動し、以下の SPPID 関連アプリケーションを削除する。
 - Intergraph SmartPlant Attribute Map
 - Intergraph SmartPlant Instrument Expansion Component
 - Intergraph SmartPlant P&ID Automation'Remove Shared File?'のダイアログボックスでは、'Yes To All'を選択する。
- PD_REPORT 6.4.1
Start Programs PD_Shell PDS Remove Products Utility を起動する。
PD_REPORT を選択し、'Continue'ボタンを選択する。
- MicroStation SE
PDS 6.4.1 で MicroStation SE を利用していた場合は、Start Programs MicroStation SE UnInstaller により、削除を行う。また、C:\WIN32APP\ustation フォルダを削除する。なお、PDS 6.4.1 で MicroStation/J を利用していた場合、MicroStation/J の削除を行う必要はない。
- Start メニューの整理
不要な Start メニュー項目が残った場合、削除を行う。
 - 'FrameWorks Plus 3.02'
 - 'MicroStation SE'
- 再起動
上記ソフトウェアの削除終了後、マシンの再起動を行う。

2. 新バージョンソフトウェアのインストール

□ レジストリ Common の確認

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Intergraph\Common が
c:\win32applng\share に設定されていることを確認する。

□ MicroStation/J

MicroStation SE の削除を行った場合には、MicroStation/J のインストール(Typical
または Complete)を行う。PDS 6.4.1 で MicroStation/J を利用していた場合、再イン
ストールを行う必要はない。

□ IPLOT Client

MicroStation SE の削除および MicroStation/J のインストールを行った場合には、
IPLOT Client の再インストール(上書き)を行う。PDS 6.4.1 で MicroStation/J を利用
していた場合、再インストールを行う必要はない。

IPLOT Client 10.00 から 10.01/10.02 へアップデートを行う場合には、上書きでイン
ストールを行う。

□ NTBATCH 5.0

NTBATCH 5.0 を C:\WIN32APP\INGR\NTBATCH にインストール(上書き)する。
'Do you want jobs to have access to the desktop?'に対し'Yes'を選択する。

□ PDS 7.0

各コンポーネントをデフォルトの設定でインストール(上書き)する。RISORADS がイ
ンストールされている場合には RISSHARE のインストールは行わない。

□ PD_ISOGEN 7.0

ISOGEN の処理を行うマシンでは、PDS のインストールを行った後、PD_ISOGEN
のインストール(上書き)を行う。RISORADS がインストールされている場合には
RISSHARE のインストールは行わない。

□ マシンの再起動

全てのソフトウェアをインストールした後、マシンの再起動を行う。

3. ソフトウェアインストール後の設定

□ 環境変数 MS の確認

ソフトウェアのインストールを行ったユーザ(通常は Administrator)のユーザ環境変数 MS が C:\Bentley\Program\MicroStation に設定されていることを確認する。

□ 環境変数 NQS_job の確認

システム環境変数として、NQS_job=1 と設定されていることを確認する。

□ 環境変数 Path の設定

環境変数 Path に不適切な部分があれば修正する。特に、空白文字を含むフォルダ名や、ダブルクォーテーションマーク(")の削除を行う。

□ RIS の設定

RISSHARE の複数のバージョンがインストールされた場合、高いバージョンの方に含まれる Configure RIS Version により、整理を行う。

また、日本語 NT のシステムに対して RISSHARE のインストールを行った場合、C:\win32app\ingr\share\ris05.xx\config\langs ファイルの読み取り専用属性をオフに設定し、以下の行を編集する。

(編集前)

```
3 |japanese          |japanese    |0x0411|932|Japanese
```

(編集後)

```
3 |english           |english     |0x0411|932|Japanese
```

□ Bentley ライセンス

MicroStation/J, IPLOT Client 等のインストールを行った場合、Bentley からライセンスが発行されていればインストールを行う。

□ SetFormScale

Dual モニタのマシンの場合は、PDS 2D Tools の SetFormScale により、Form Scale Factors を X = 0.5, Y = 0.5 に設定する。

□ FWP Envelope Builder の更新

Command Prompt 上で以下のコマンドを実行する。

```
c:  
cd c:\win32app\ingr\fwplus\bin  
clashupd c:\win32app\ingr\pdclash\bin
```

□ ユーザプロファイルのコピー

My Computer のプロパティを表示し、User Profiles タブを選択する。Administrator のプロファイルを選択して Copy To... ボタンを選択する。C:\Winnt\Profiles\Default User をコピー先として指定し、Permitted to use に Everyone を指定する。

□ Repair 情報の更新

Command Prompt 上で rdisk /s-コマンドを実行する。

□ マシンの再起動

全ての設定作業を行った後、マシンの再起動を行う。

4. PDS 7.0 起動前の設定

□ 環境変数 MS の設定

MicroStation SE の削除および MicroStation/J のインストールを行った場合には、PDS を使用する各ユーザのユーザ環境変数 MS を C:\Bentley\Program\MicroStation に変更する。

□ RIS の設定の確認

環境変数 RIS_PARAMETERS や Locate Schema File の設定を確認する。

□ PDS Configure 等の確認

PDS Configure, EE Configure, PEHVAC Configure 等の設定を確認する。

□ Set Options の設定

PDS 2D Applications の Set Options の設定を行う。

この後、PDS を起動し、プロジェクトデータ/RDB のアップグレード作業を行う。